

# I-5 子どもの成長を認め、自尊心を育てる

## 【プログラムのねらい】

- ・“ぼくもう赤ちゃんじゃないよ!”の子どもの自尊心を育む子育ての大切さに気づく。
- ・日常の子育てを振り返り、子どもの成長を認める、上手なほめ方や叱り方について考える。

## 【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ <b>アイスブレイキング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間づくりの遊びを行い、参加者のリラックスした雰囲気づくりをする。</li> <li>・他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。</li> </ul>	P2「アイスブレイキング各種」参照
10分	<p>▶ <b>Work</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活中で、ほめること、叱ること、どうしたらよいか分からないことについて、場面やかかわり、その時の親子の気持ちなどをワークシートに記入し、自分の子育てについて振り返りを行う。</li> </ul>	ワークシート
30分	<p>▶ <b>グループワーク</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Workの振り返りをもとに、日常生活の中で「ほめる」「叱る」ことについて悩みや工夫などの情報交換し、子どもの成長を認め、自尊心をはぐくむ、上手なほめ方や叱り方について考え合う。</li> <li>・司会進行、書記、発表者は、各グループのメンバーで決め、主体的なグループワークになるよう、指導者役は側面から見守る。</li> </ul> <p>▶ <b>発表とまとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの発表者は、話し合った内容を発表し、全体のメンバーの共有を図るようにする。</li> </ul> <p>▶ <b>アドバイス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己主張が強まる2歳の頃は、つい表面的なことにとらわれ、叱ることが多くなりがちだが、その子が大きく育つことを信じて心に豊かな水や栄養を与えるつもりで、子どもの良いところを見だし、ほめることが大切であることを助言する。</li> <li>・叱るべきときは叱り、ほめるべきときはちゃんとほめる。子どもはほめられることで喜びを感じ自信や自尊心が育つので、一つ叱ったら三つほめるぐらいの心の余裕をもつことを助言する。</li> </ul>	5名程度のグループづくり  資料
10分	<p>▶ <b>振り返りシート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー一人一人が、このプログラムで得た気づきを生かし、子どもの成長を認め、自尊心をはぐくむ子育てを奨励する。</li> <li>・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。</li> </ul>	振り返りシート